



赤目まちづくり委員会・市民センター たきこちゃん通信 8

2021年
月号

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター)〒518-0465名張市赤目町丈六238-1 電話/FAX63-0329 E-mail/akame-ko@emachi-nabari.jp

先行きの読めない現在に 灯のご縁を頂く幸せ

赤目まちづくり委員会 会長 亀本和丈

酷暑、猛暑が列島をおおい、東京ではコロナ禍により無観客ながらオリンピックが盛大に開催されている今日、地域の皆様には、ご健勝の段、心よりおよろこびを申し上げます。コロナウィルスの感染拡大は日ごとに増え続けており、見通しのない昨今であります。私共赤目地域のまちづくりは今年三つの大きな灯のご縁を頂きました。

先ず一つ目は、今年四月八日に開催された東京2020オリンピックの聖火リレーに伴う「希望の灯り」。

二つ目は、今年四月に誕生致しました「赤目竹あかりSDGsプロジェクト」であります。SDGsに基づく地域の竹林環境整備に始まり製品の開発からいずれは利益の確保まで循環可能な活動の構築に、小学生から各区民の皆様の協力の基、徐々にその輪の広がりを進めている処であります。その結果、7月22日市民センター駐車場に於いての「赤目竹あかり夕涼み会」は市長をはじめ多数の来賓のお出ましを頂き涼しいひと時を過ごす事が出来、準備等々お世話になりました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

また最後三つ目は、来る八月十四日に執り行われますパラリンピック聖火の名張市ゆかりの灯による「採火式」であります。当日の式典では、赤目竹あかりSDGsプロジェクトから竹あかり約135個を持ち込み会場のいどりに協力すると共に、名張ゆかりの灯りには永き伝統文化を継承している伊賀一ノ井松明の火が採火される運びと相成った処であります。

これらを機として、明るく・元気な名張赤目の復活と地域皆様の幸多きを心よりご祈念致しますと共に特に厳しい8月を元気で乗り切りましょう。

健康教室・インボディーの測定開催予定

コロナウィルス対策を取った上で、8月18日(水)に、健康教室、「自分の体を知ろう」を開催予定。

握力・骨密度・腹筋・上体そらし・前屈・インボディーによる測定を実施しますので、測定しやすい服装でマクス着用の上、ご参加ください。

- 日時 8月18日(水) 10時~11時半
- 場所 赤目市民センター 大会議室

※8/19(木) サンサンカレーサロンを開催していますので、お気軽に夏休中のお子様もご参加ください。

<赤目・錦生地区高齢者交流会>

「グランドゴルフ大会」開催予定

- 9月25日(土) 8時半より
- 錦生・赤目小学校グラウンド

※申し込み等詳細は、チラシ回覧をご覧ください。

『あかめ竹あかりSDGsプロジェクト』 の活動報告

「赤目竹あかり夕涼み会」開催

7/22(木・祝)7時半より赤目市民センターで、「赤目竹あかり夕涼み会」を開催。亀井市長を始め多くのご来賓を迎え、コロナ対策を取りつつ行われました。各区で製作した「竹あかり」80本余りを市民センター玄関前に飾り付け・灯りを灯しました。大会議室で、竹あかりの紹介ビデオ、竹細工品の展示・竹あかり実演コーナーもあり、お茶と花火で楽しむ赤目地域版の「赤目竹あかりSDGsプロジェクト」の一環として行われ、夏の夜のひと時をみなさんに大変喜んでいただけました。



「竹風鈴づくり」開催

青少年育成部会(水谷部長)主催で、第1回「竹風鈴づくり」を開催致しました。環境部会・宮本部長さんの指導のもと、各自が思い思いに独創的なデザイン作品を手掛けました。青竹からの風鈴づくりは、子供さんも穴を開けたり、切ったりして組み立てました。ナタを使って竹を割る練習や電動ドリルやキリで穴開けなど、興味津々の楽しい時間を過ごしました。自信作を家に持ち帰り、夏の涼しさを感じてもらえたでしょうか。



竹あかりの「体験プログラム」として星川・一ノ井・すみれが丘・相楽・柏原区で、出前竹あかりづくりを実施しました。今後も他の区で実施予定です。奮ってご参加ください。

赤目地区・投票所の変更

次期執行される衆議院議員総選挙から、投票所が「赤目市民センター」に変更になります。

名張市選挙管理委員会 TEL.63-7314

名張市指定ゴミ袋取扱、紙おむつ専用ごみ袋(無料交付)
特大45リットル10枚480円・大30リットル10枚300円・中20リットル10枚180円・小10リットル10枚80円
紙おむつ専用ごみ袋は、対象者一人当たり30枚以内。

赤目まちづくり委員会
赤目市民センター
ホームページ



赤目まちづくり委員会・市民センターの情報がホームページでご覧いただけます。
※スマホ・携帯電話で左のQRコードを読み取って下さい。
また市民センターでは、無料Wi-Fiが使えます。

皆さん、奮ってご参加ください!!

赤目市民センター 夏休み こども映画会

場所 / 赤目市民センター
大会議室

みんな来てね! 大人も大歓迎です。

「ビリギャル」 (117分)

土井裕泰監督。「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」実話を、映画化。主演は、有村架純で金髪ギャルに扮する。

午後の部 / 1時30分～



「未来のミライ」 (98分)

細田守監督作品。横浜の「兄妹」をテーマに、甘えん坊の4歳男児・くんちゃんと未来からやってきた彼の妹・ミライちゃんの冒険が描かれるアニメ映画。

午後の部 / 1時30分～



子ども 星空観察会

8/14 (土) 19時半より 市民センター・駐車場集合

不審電話・車上狙いにご注意!!

「お金が戻ってくる」「ATMで還付金が受け取れる」「介護保険の払い戻しがある」などは、還付金詐欺です。知らない人から電話があったら、いったん切り家族・知人、警察などに相談ください。名張警察 62-0110 名張市役所・市民相談室 63-7416



8月9日～9月5日までの予定

月	火	水	木	金	土	日
8/9 振替休日	10	11 ふれあいサロン 夏休み映画会①	12	13 休館日	14 夏休み映画会② 星空観察会	15
16	17	18 忍たま広場 ELP健康教室 赤目竹あかりモ ニターイベント	19 サンサンカレー	20	21 Dayキャンプ ①	22 Dayキャンプ ②
23	24	25 ふれあいサロン 特定検診	26	27	28	29
30	31	9/1	2	3	4	5

※赤目市民センターでは、コロナ対策として、検温・マスク着用・消毒・換気、名簿の作成など、3密（密集・密接・密閉）を避けて運営しています。しかしながら状況に応じ、中止・延期になる場合がありますので、ご注意お願い致します。

9月の行事予定



- ★9/8(水) ふれあいサロン
- ★9/14(火) 館外学習 工場見学 (中止)
- ★9/16(木) 小学校竹あかりワークショップ
- ★9/22(水) ふれあいサロン・忍たま広場
- ★9/25(土) 赤目戦没者追悼式
- ★9/26(日) 丈六区竹あかりづくり

赤目市民センターまつりの開催について

コロナ禍の中、昨年に続き本年も「展示」のみで開催を予定しています。つきましては多くの皆様の出品・展示をお願い致します。
実施日 10月30日(土)～11月1日(月)(3日間)

Vol. 19 歴史散策紀行…「赤目文化遺産」

(各区・地域の名所・名品を募集しています。)

「竹(タケ)と滝(タキ)の赤目」

前号の「竹の話」に続き、竹細工・製品の話の話を少し。プラスチックが安価で量産可能になったため、竹細工品は日常からいつの間にか姿を消していった。茶道や華道をたしなむ若者世代も少なく、高価な花籠や茶道具(茶筌・茶しゃく)なども売れなくなった。

本来竹を加工した製品は、竹ひごを編み込んで細工するなど日用品・農具・漁労具などの「荒物」から、茶道具などの「工芸品」、竹とんぼや和風・水鉄砲・竹かごとといった「玩具」・釣竿等が多い。ひごの編み込み方・編組(籠目)の種類には、基本となる六つ目編み、四つ目編み、ござ目編み、網代(あじろ)編み、さらには、異なる太さのひごを駆使した波網代や、麻の葉編み、松葉編み、やたら編みなど。

素材はマダケ(真竹)が最も多く、伐採したままの青竹、火であぶったり(乾式)、苛性ソーダで煮沸したり(湿式)して油抜きをした晒し竹、炭化させた炭化竹、伐採後数ヶ月から数年間自然に枯らしたものの、家屋の屋根裏で数十年間囲炉裏やかまどの煙で燻された煤竹(すすだけ)等がある。これらは弾力性、硬さ、耐久性などが異なり、利用目的によって使い分けられる。青竹は容易に入手できるが、耐久性に問題があり、晒し竹や炭化竹に加工する事でその問題点は改善される。煤竹は独特の色(すす竹色)をしており、硬く、耐久性に富むが、入手は困難である。真竹についてモウソウチク(孟宗竹)も多く用いられる。

孟宗竹は、もっぱら青竹のまま利用される。

日本各地には竹細工品の特産地が多く、中でも大分県の別府竹細工や日田(ひたし)の竹箸などは、真竹の面積・生産量とも全国一のシェアを占め、竹材業者も多いため、加工された素材も入手が容易。また伝統的工芸品に指定されている竹工品は、江戸和竿(東京都)、駿河竹千筋細工(静岡県)、大阪金剛簾(大阪府)、高山茶筌(奈良県)、勝山竹細工(岡山県)、都城大弓(宮崎県)など。

越前竹人形(えちぜんたけにんぎょう)は、福井県の越前地方で竹を使って作った人形で、坂井市とその周辺地域で作った地域団体商標と福井県の郷土工芸品に指定。もともと『越前竹人形』は、1963年に発表された水上勉氏の同名小説で有名になり、小説に感化されて人形作りが盛んになったと云われる。またそれを受けて内田康夫氏の浅見光彦シリーズ『竹人形殺人事件』が書かれるなどミステリーな部分も含んでいる。

近年アンティークな竹細工は、海外の日本ブームにあやかって欧米中心にコレクターが増加し錦鯉・盆栽に続くぐらゐの流行。そこで素晴らしい工芸品をご紹介します。相楽区の倉坂学氏(環境部会副部長)の作品、微笑ましくホッとさせる傑作。(8/16まで市役所ロビー展示) 今後は、竹あかりを始めとして竹細工が本格的になれば、持続可能な発展性を生む経済活動に繋がるのでは。そして赤目が『竹(タケ)と滝(タキ)の赤目』と呼ばれる日が来るのでは…。

